

平成 30 年 6 月 12 日現在

機関番号：10101

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2015～2017

課題番号：15K12994

研究課題名(和文)「グローバル」ガバナンスの研究 貿易自由化、世界標準・規制、地方再生

研究課題名(英文) A Study of 'Glocal' Governance: Trade liberalization, global standards, and the local/regional revival.

研究代表者

遠藤 乾 (ENDO, Ken)

北海道大学・大学院公共政策学連携研究部・教授

研究者番号：00281775

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、「グローバル」ガバナンスという概念を掘り下げ、自由貿易や世界標準との関連で地方への政策的含意を汲み取るものである。

この間、座長として「グローバル人材育成に関する委員会」で道の方針作りに関わり、北海道新聞と公開講座を開催し、地方議員を集めてサマースクールを開催した。その際、統合が進む中で田舎のマネジメントを試みる欧州とTPP加盟を視野に入れる台湾での現地調査に照らし、グローバルとローカルの接続を考察した。

この間の業績『欧州複合危機』(中公新書)は対象を英仏西等欧州に限定しているものの、ここでのグローバル・ガバナンス研究の一部が本書で地方の利害を考察する際に役立っている。

研究成果の概要(英文)： This study explores the concept of 'glocal' governance, trying to tease out the policy implications of globalization --- e.g. free trade and global standardization --- for localities/regions.

The major results include, 1) the participation as the chairman of the Hokkaido prefecture's 'committee on the formation of global human resources,' which spells out the directions with which to raise the global-minded youth in the region of Hokkaido, 2) executed the series of open lectures, in collaboration with Hokkaido Shimbun, inviting practitioners and researchers, 3) and held the Hokkaido University summer school assembling local and regional representatives. In so doing, the project considers ways in which to connect the global and the local/regional, in reference to the rich related experiences in Europe and Taiwan.

My 2016 book Europe's Complex Crisis is partially indebted to this project.

研究分野：国際政治

キーワード：グローバル ガバナンス グローバル ローカル 地方 北海道

1. 研究開始当初の背景

本研究の背景は、2003年の著作『グローバル化時代の地方ガバナンス』（岩波書店）の延長上に立って、それから10数年経ちいっそう進展した感のあるグローバル化の時代にあつて、地方・地域がどのように生きていくべきなのか、申請者の居住地である北海道を起点に、ヨーロッパやアジアの現状を踏まえながら、考察することにあつた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、「グローバル・ガバナンス (Glocal Governance)」という概念を掘り下げ、グローバル化と地方・地域とを結びながら、政策体系の実質化を試みることにある。本研究はさらに2点で含意を汲み取れるのか見極めることを目指す。一つは思想的に「グローバル」の理念的奥行きを検討すること、もう一つは政策的に、地域主義やグローバル化などの相互依存ガバナンスのなかで地方の生き方への含意を探ることである。

3. 研究の方法

具体的な方法としては、TPP（環太平洋経済連携協定）などの自由貿易レジームと、地方・地域、とりわけ北海道における農業・医療・介護を結び、その間の緊張関係と調和可能性を試行的に探求する。参照するのは、長年研究してきた欧州連合 (EU)、特にその規制力 (Regulatory Power) であり、そこでのグローバル＝ローカル関係のマネジメントに焦点を当て、比較の視座から政治学的に考察し、実社会と協働しながら検討を進めたいと考えていた。

4. 研究成果

本研究の成果としては、①座長として北海道庁と立ち上げた「グローバル人材育成に関する委員会」を通じて道の方針作りに関わったこと、②実務家・研究者を招聘し、地元の北海道新聞と研究会兼公開講座を開催したこと、③地方議員を集めて北大サマースクールを開催したことがある。その際、欧州統合が進む中で田舎のマネジメントを試みる英仏伊西と TPP 加盟を視野に入れ農業等へのコストを衡量しつつある台湾での現地調査に照らし、北海道に即してグローバルとローカルの接続を考察した。

これらを通じて多くのことをこのプロジェクトで考えさせられたが、最終的には、従来からの関心であるグローバル化とデモクラシー、とりわけ近年におけるポピュリズムの興隆との関係に思考の比重が移っていった。そのなかで、目にとめたのは、公共交通が斜陽産業として切り捨てられる中で不便となった田舎で、極右のポピュリズムが伸長

しているというデータだった。これは、フランスなどの田舎を回った時の経験とも重なった。

本萌芽研究の成果は、欧州に焦点を当てたものではあるが日本への含意を含む単著『欧州複合危機』に生かしたほか、もとより社会的協働を目標に掲げていたこともあり、各地の講演や記事・エッセイに逐一盛り込むことができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計9件)

1. ENDO, Ken, "Japan in 2018," GOLDSTEIN, Andrea & CULVEREDS, Julia (eds.), *The World in 2018* (Nomisma), pp.72-74, 2017、査読無
http://www.nomisma.it/images/PUBBLICAZIONI/The_World_in_2018-web.pdf
2. 遠藤乾・大芝亮・中山俊宏・宮城大蔵・古城佳子「座談会 揺らぐ国際秩序は揺らいでいるのか」、国際問題 No.668、P.1-17、査読無
http://www2.jiia.or.jp/kokusaimondai_archive/2010/2018-01_001.pdf?noprint
3. 遠藤乾「EU はどこに向かうのか—欧州複合危機のゆくえ— (六月夕食会講演)」、學士會会報 926号、P.2-11、2017、査読無
4. 遠藤乾「EU の憂鬱—欧州複合危機の行方」、外交 35号、P.90-99、2016、査読無
5. ENDO, Ken, "The difficulty of realizing pan-European fiscal democracy," *MyVision*, No.16, 2015、査読無
http://www.nira.or.jp/pdf/e_vision16.pdf
6. 遠藤乾「危機を生きる—ギリシャ国民投票後のEU」、學士會会報 914号、P.26-33、2015、査読無
7. 遠藤乾「財政統合なき共同体の困難《ギリシャ発ユーロ危機!》」、中央公論 129巻9号、P.208-211、2015、査読無
8. 遠藤乾「EU の歴史と将来—ヨーロッパはどこに向かうのか」、国際問題 641号、P.5-15、2015、査読無
http://www2.jiia.or.jp/kokusaimondai_archive/2010/2015-05_002.pdf?noprint

[学会発表] (計26件)

1. 遠藤乾「先進国リスク時代の国際協調」、日本国際問題研究所「混迷する欧州と日本外交」研究会、2018
2. ENDO, Ken, "The Risk of Developed Countries --- Populism and Authoritarianism," Centre for Strategic and International Studies - Indonesia, 2018
3. ENDO, Ken, "Session 3: Populism's Effect On Democracy," Trilateral Forum Tokyo 'A Japan-US-European Strategic Dialogue',

- 2017
4. 遠藤乾「岐路に立つ“近代国家”のゆくえ」、第86期「経営ビジョン構想懇話会」、2017
 5. 遠藤乾「共通論題「デモクラシーと世界秩序」(パネル・ディスカッション)パネリスト」、日本国際政治学会 2017年研究大会、2017
 6. ENDO, Ken, “Whither the EU-US-Asia Triangle? The Politics of Norm in the Age of Developed Countries' Risk,” Robert Schuman Centre for Advanced Studies Seminar, 2017
 7. ENDO, Ken, “The Risk of Advanced Democracies in a Global Era,” International University - Hokkaido University Joint Seminar, 2017
 8. 遠藤乾「EUの危機の本質及び今後の展望」、国立国会図書館調査・立法考査局「EU研究会」、2017
 9. 遠藤乾「ポピュリズム時代の欧州統一—2017年の欧州国政選挙のその背景・影響—」、経済同友会、2017
 10. 遠藤乾「グローバル化と社会的価値—ポピュリズム時代の経済外交—」、経済外交シンポジウム、2017
 11. ENDO, Ken, “Second Panel: Evolution of the EU-Asia-US Triangle Under the New Situation (Speaker),” Foundation for Strategic Research Conference: Evolution of the Strategic Situation in Asia and Consequences for Europe, 2017
 12. 遠藤乾「欧州複合危機のゆくえ—英国離脱後のEUと世界—」、ヨーロッパ資本市場研究会、2016
 13. ENDO, Ken, “Session Four: National Identity, Political Change and the Vitality of the Nation-State (Panelist),” Chatham House Asia Programme Meeting --- UK-Japan Global Seminar 2016: Challenge and Uncertainty in a Volatile World: Japan-UK Perspectives, 2016
 14. 遠藤乾「英国の欧州連合(EU)離脱の背景—顧みられない先進国労働者のいらだち」、第499回中日懇話会、2016
 15. 遠藤乾「イギリスは、EUは、世界はどう変わるのか」、日本経済団体連合会 21世紀政策研究所「英国のEU離脱に関するセミナー」、2016
 16. 遠藤乾「グローバル・コモンスの射程—あるいは国際政治における naivete 再考—」、サントリー文化財団コモンス研究会、2016
 17. 遠藤乾「再考・日本の安全保障」、成蹊大学政治学研究会、2016
 18. 遠藤乾「欧州展望—EUの現状と見通し—」、経済同友会欧州・ロシア委員会主催セミナー、2015
 19. ENDO, Ken, “China's B&R Initiatives and Energy Cooperation,” The Belt & Road and Northeast Asia Energy Security Environment Workshop, 2015
 20. 遠藤乾「TPP、グローバル・スタンダード、北海道農業—グローバル化との付き合い方」、北海道菱肥会、2015
 21. 遠藤乾「欧州の亀裂—統合の進展と相互不信」、日本経済研究センターセミナー、2015
 22. ENDO, Ken, “The Principle to 'Harmonise-Up' in the Era of Competing FTAs --- Towards a new dynamism of Japan-Korean relations Japan-Korean Open Intellectual Dialogue”, Open Intellectual Dialogue between Korea and Japan, 2015
- [図書] (計2件)
1. 遠藤乾『欧州複合危機—苦悶するEU、揺れる世界』(中央公論新社)、P.1-312、2016
 2. 遠藤乾『シリーズ日本の安全保障 第8巻 グローバル・コモンス』(岩波書店)、P.1-304、2015
- [その他] 新聞記事等 (計17件)
1. 遠藤乾「【月刊・時論フォーラム】[ネオ・ナショナリズム] グローバル化、格差が相関」毎日新聞 2018年1月23日朝刊
 2. 遠藤乾「【あすを探る 国際】「質高貿易」の旗振り役を」朝日新聞 2017年11月30日朝刊
 3. 東浩紀×遠藤乾「【対談】グローバリゼーションとナショナリズムの狭間で：可視化された大衆の欲望が民意を歪める」中央公論 2017年7月号
 4. 井手英策・遠藤乾・小熊英二・木村草太・津田大介・中北浩爾「日本を良くしたい、私の提案 論壇時評メンバー座談会」、朝日新聞 2017年3月29日夕刊
 5. 遠藤乾「JR北海道—切り捨ては続くよ (月刊・時論フォーラム：トランプ大統領誕生/JR北海道/格差拡大)」、毎日新聞 2017年1月25日朝刊
 6. 遠藤乾「英国政治の検証構造—報道、政官、学界 三重の目 (月刊・時論フォーラム：英国政治の検証構造/日銀の政策転換/障害者報道)」、毎日新聞 2016年9月29日朝刊
 7. 遠藤乾「EUは生き残れるか (中) やせ細る中間層、対策急務 民主政と国際化、矛盾拡大」、日本経済新聞 2016年7月28日朝刊
 8. 遠藤乾「英国EU離脱で「欧州と世界」はどう変わるのか」、東洋経済オンライン 2016年7月16日号
 9. 遠藤乾「英国が「EUを離脱しない」は本当なのか」、東洋経済オンライン 2016年7月9日号
 10. 遠藤乾「英国はEU離脱で「のた打ち回る」ことになる」、東洋経済オンライン 2016年6月27日号

11. 遠藤乾（聞き手・吉田美智子）「＜考論＞反移民・高まる主権意識」朝日新聞 2016年6月25日朝刊
12. 遠藤乾（吉田美智子）「社会に亀裂、支持分極化——遠藤乾・北大教授と歩くきょう英国民投票」朝日新聞 2016年6月23日朝刊
13. 遠藤乾「今の中国に「リベラリズム」は存在し得るのか——「現代中国のリベラリズム思潮」を読む」、東洋経済オンライン 2016年5月28日号
14. 遠藤乾「(あすを探る 国際) 縮む政治、パナマ文書が問う」、朝日新聞 2016年5月26日朝刊

6. 研究組織

(1)研究代表者

遠藤 乾 (ENDO, Ken)

北海道大学・大学院公共政策学連携研究部・教授

研究者番号：00281775

(2)研究分担者 なし

(3)連携研究者 なし

(4)研究協力者 なし